



# 宇宙機での ROSアプリケーション活用

齋藤達彦<sup>1</sup>

加藤裕基<sup>1</sup>, 平野大地<sup>1</sup>, 岩渕甲誠<sup>2</sup>, 川口仁<sup>2</sup>

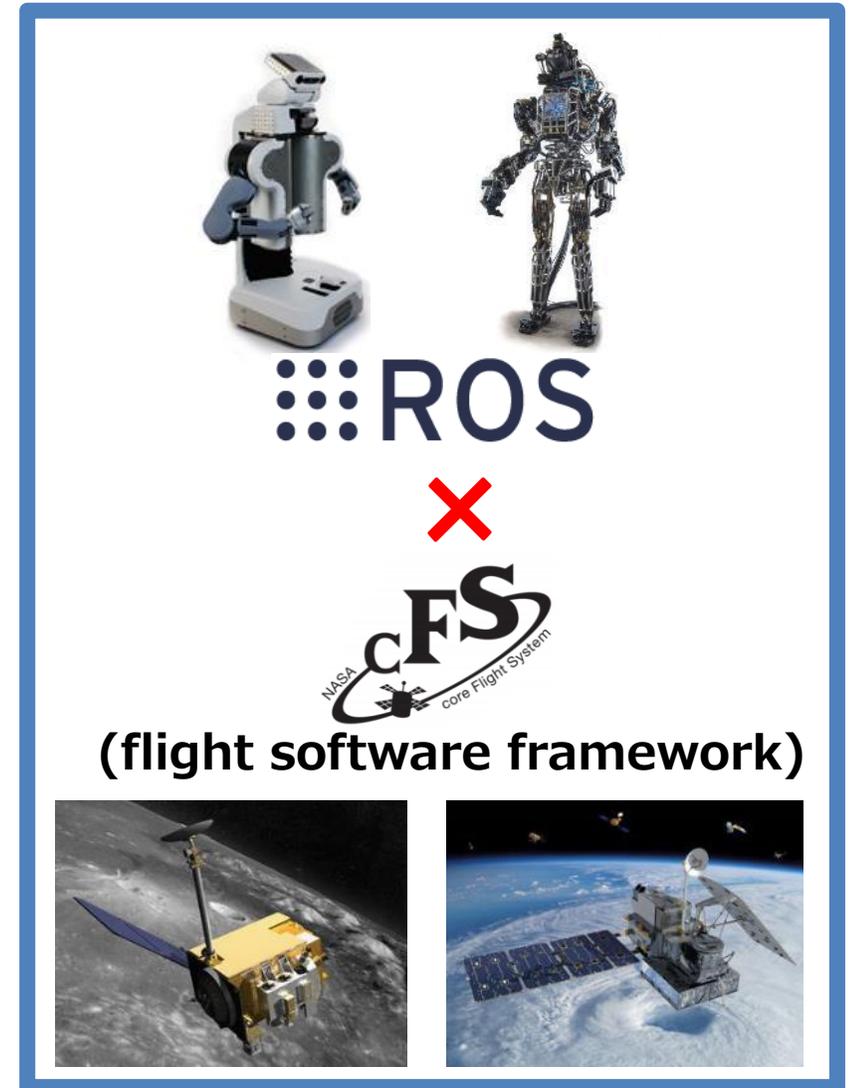
<sup>1</sup> 宇宙航空研究開発機構 (JAXA), <sup>2</sup> 株式会社セック



# 目次

- インTRODクシヨン
  - 宇宙ロボットソフトウェア
  - 宇宙機用ソフトウェア (CFS)
- ROSアプリケーション移植環境
- 動作検証
- まとめ
- 今後の展望

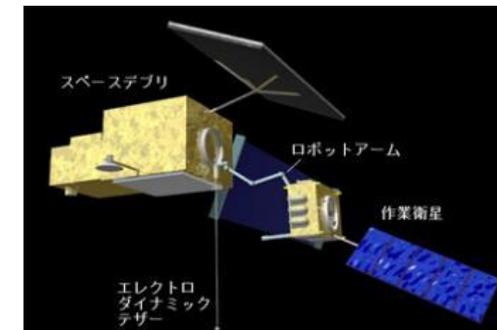
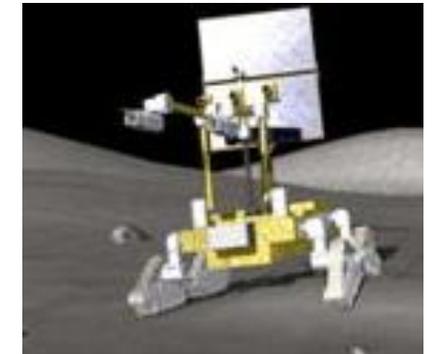
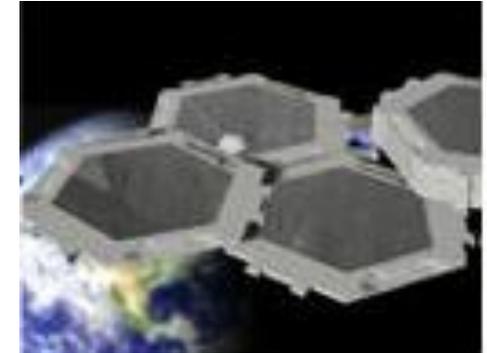
あなたの宇宙ロボット開発参入を実現！



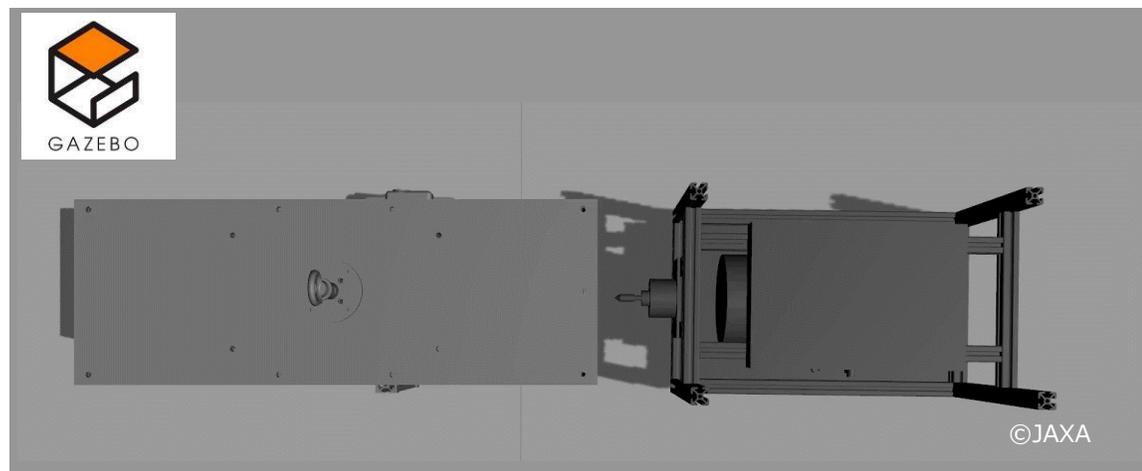
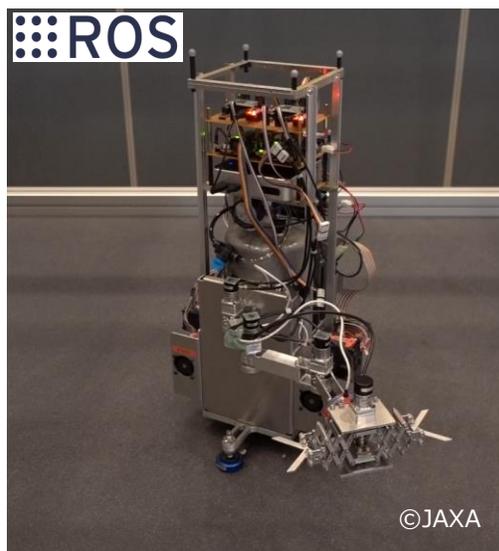
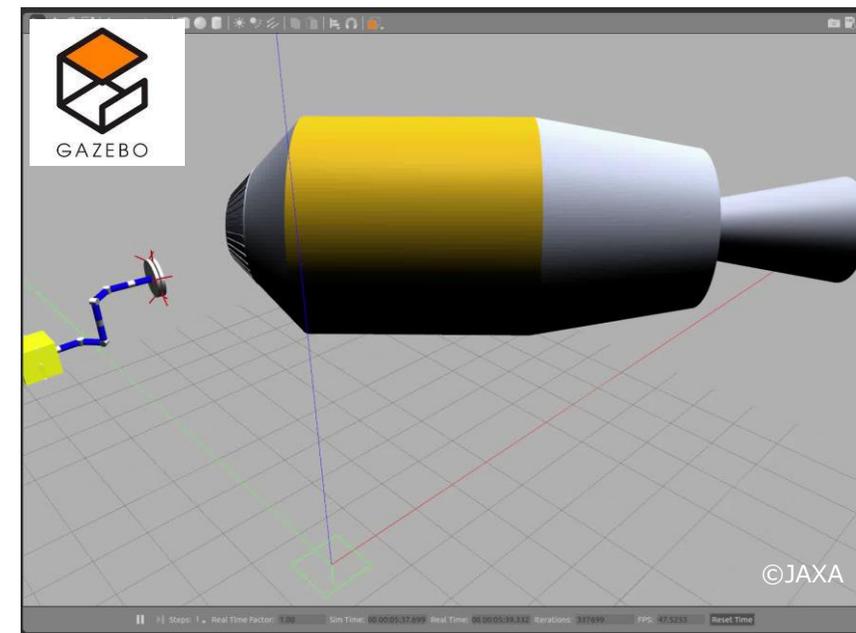
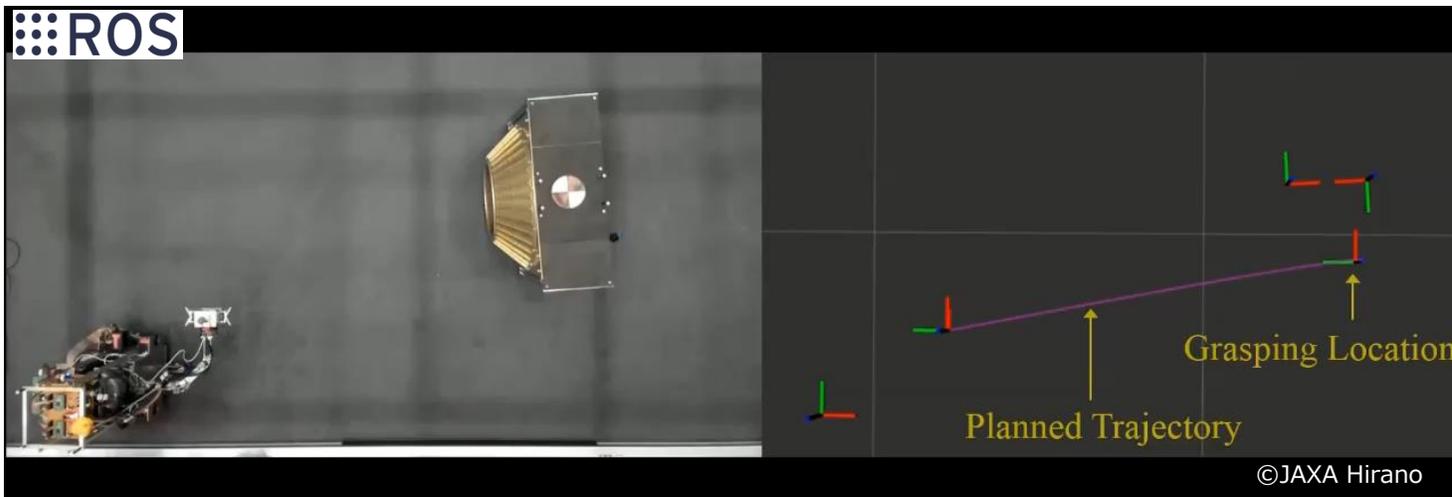
# ロボットを用いた宇宙ミッション

## 今後の宇宙ミッション

- 大型宇宙構造物建設（宇宙太陽光発電 等）
  - 人工衛星の保守・修理
  - 月・惑星探査
  - スペースデブリ除去
- ➡ 自律ロボットの大規模ソフトウェアを駆使
- ➡ 宇宙ロボットソフトウェアプラットフォームが必要
- ✓ 既存のロボット技術を容易に統合可能
  - ✓ アプリケーション開発が容易
- ➡ ROSエコシステムを活用



# ROSを利用した宇宙ロボティクス研究



- 空気浮上ロボット制御
- 接触シミュレータ
- 捕獲シミュレータ

# 宇宙でのROS利用状況

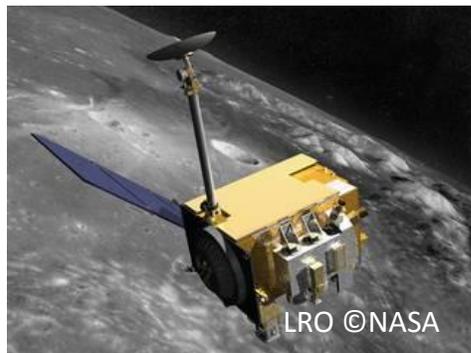
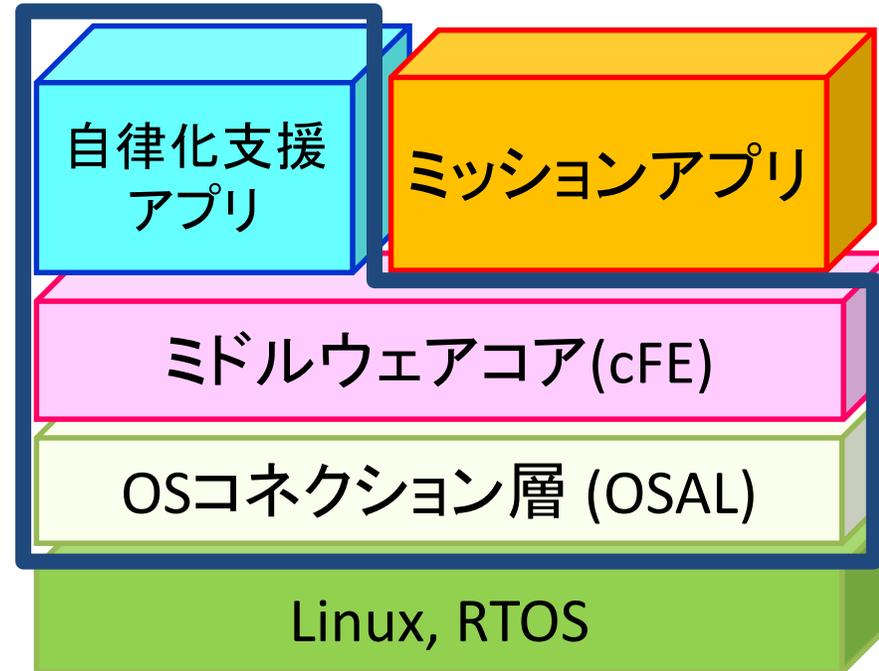
- ISS船内ロボット
  - Robonaut2
  - Astrobee (2019年打ち上げ予定)
- ISS船外での利用実績なし
- 宇宙機利用
  - ➡ ROSを宇宙機組込み仕様に改修必要
  - ➡ コスト大



**既存の宇宙機システムにROSを組み込めないか？**

# Core Flight System(CFS)

- CFS: オープンソースの宇宙機制御ソフトウェア (©GSFC/NASA)
  - OSコネクション層 (Linux, RTOS対応)
  - ミドルウェアコア (タスク・データ管理、通信制御、時刻管理、等)
  - 自律化支援アプリケーション (ログチェック、アプリ生存監視、等)
- 豊富な搭載実績：高信頼性



# CFSへのROS適用方法

- CFSではミッションアプリは独自開発が必要
- 我々のアプローチ：

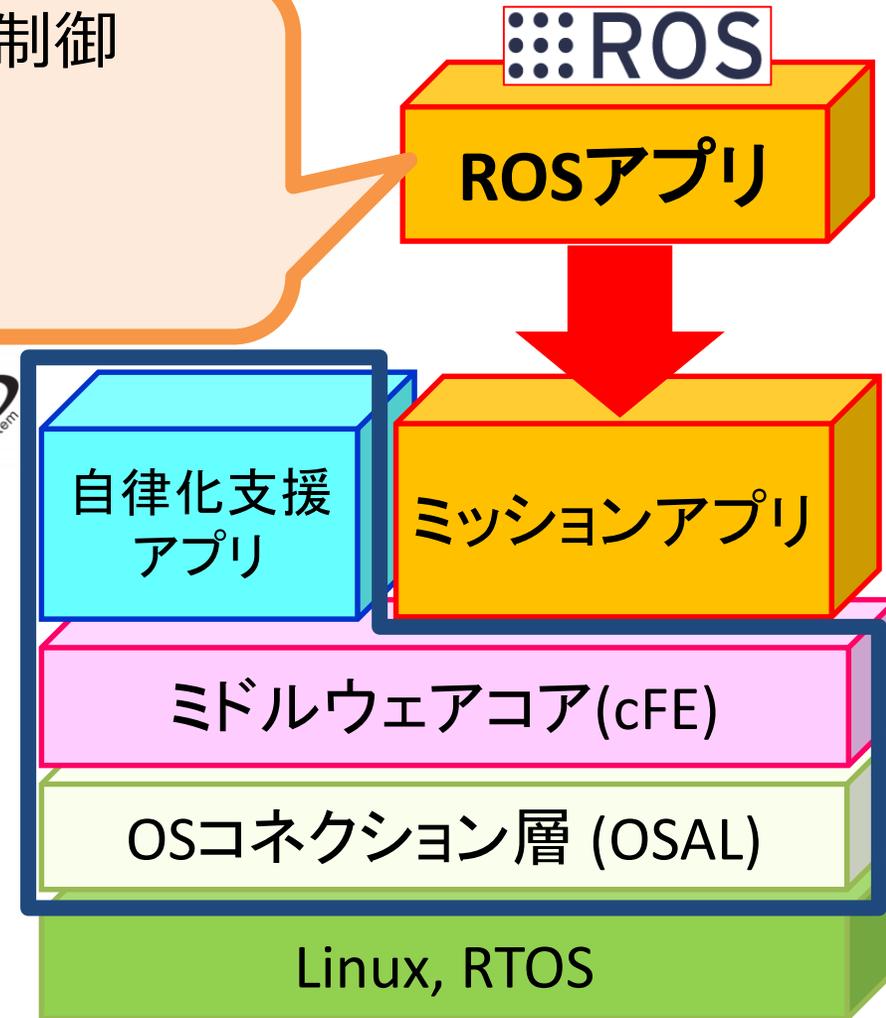
- ✓ マニピュレータ制御
- ✓ 自己位置推定
- ✓ 経路計画
- .....

既存のロボットで利用されている

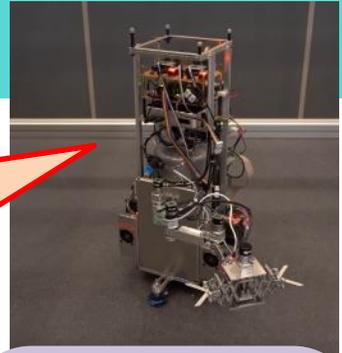
ROSアプリ（ノード）を

宇宙機（CFS）のミッションアプリとして移植

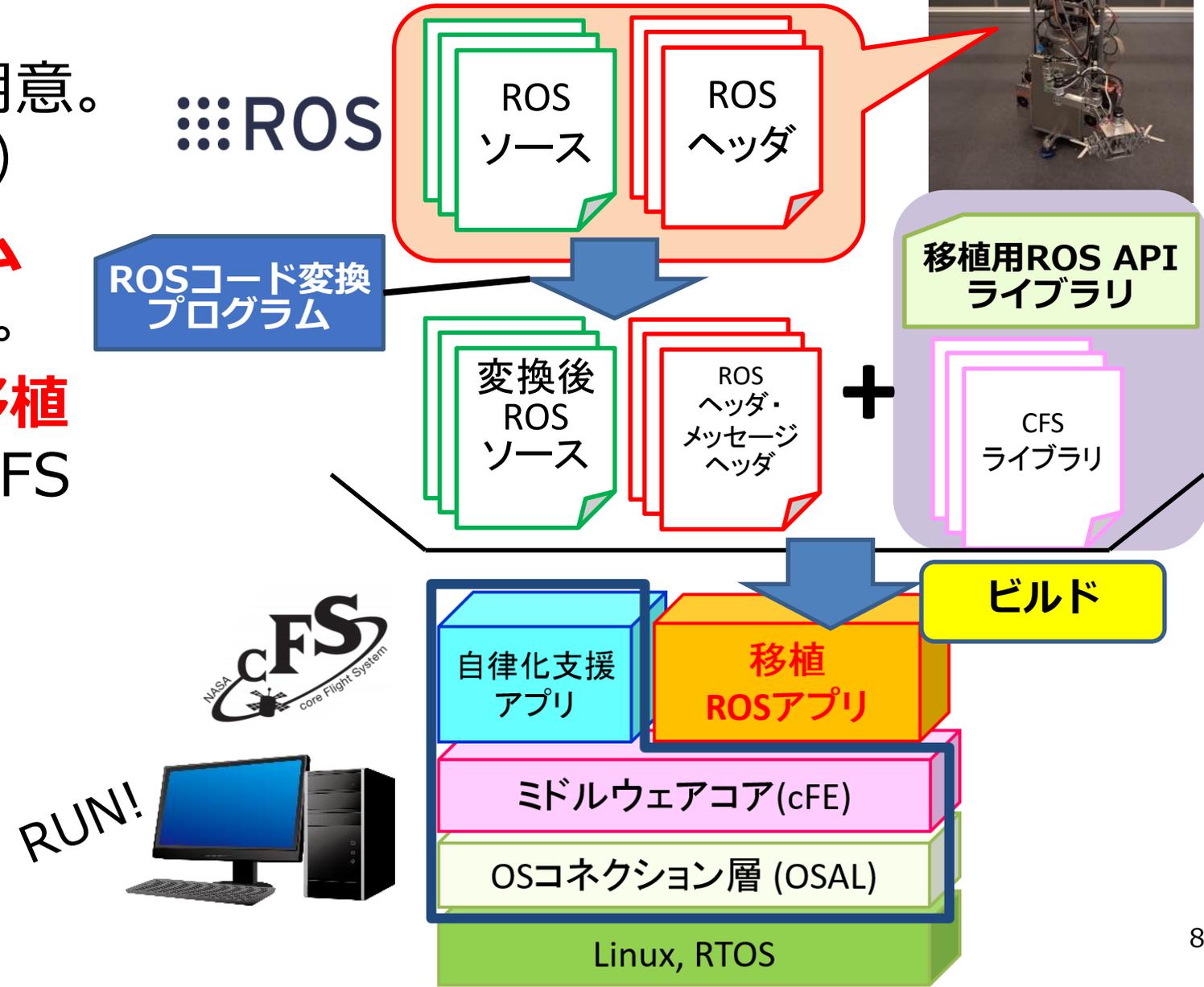
する



# ROSアプリケーション移植ステップ



- ① 移植したいROSコードを用意。  
(サポート・互換性を確認)
- ② **ROSコード変換プログラム**を実行。コードを自動変換。
- ③ 自動変換されたコードを**移植用ROS APIライブラリ**、CFSコードと共にビルド。
- ④ 実行。  
(Linux上でも動作可能)



# ROSアプリケーションの移植環境開発

- 開発コンセプト：ROSアプリのコードをほぼそのまま利用する。  
(移植の際のユーザのコストを最小化する)

移植用ROS API  
ライブラリ  
(ROS/cFE Interface  
Library)

ROSコード変換プログラム  
(CFS convertor)

## 【動作環境】

- ROS: Kinetic Kame
- ROS client: roscpp  
(C++コードアプリ)

# 移植用ROS API ライブラリ

## 移植用ROS API ライブラリ (ROS/cFE Interface Library)

- 移植ROSアプリケーションが利用  
(ビルド時に追加する)
- CFSでのROS関数の機能を提供
- 現在は
  - ✓ **ノード間のトピック通信**
  - ✓ **周期動作 (コールバック)**に必要な機能をサポート

## 利用可能なROS関数一覧

クラス	関数名
-	init
Time	now().toSec()
-	ok()
Rate	sleep()
Duration	sleep()
-	spinOnce()
-	spin()
NodeHandle	subscribe
	advertise
Publisher	publish

# ROSコード変換プログラム

## ROSコード変換プログラム (CFS convertor)

- ROSコードをCFSとビルド可能な形式に自動変換
- ROSメッセージ定義ファイルを自動付加
- ROSパッケージヘッダを自動付加

## 利用可能なROSメッセージ一覧

メッセージクラス	メッセージタイプ
std msgs	header
	Float64MultiArray
	MultiArrayLayout
	MultiArrayDimension
geometry msgs	Wrench / WrenchStamped
	Pose / PoseStamped
	PoseWithCovarianceStamped
	Point
	Twist / TwistWithCovariance
	Vector3
nav msgs	Odometry
sensor msgs	JointState

# ROSコード変換プログラム

## ROSコード変換プログラム (CFS convertor)

- ROSコードをCFSとビルド可能な形式に自動変換
- ROSメッセージ定義ファイルを自動付加
- ROSパッケージヘッダを自動付加

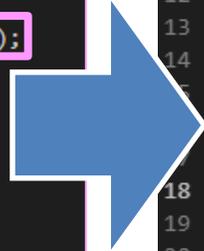
## 利用可能なROSパッケージヘッダファイル

パッケージ	ヘッダファイル	クラス
tf	Matrix3x3.h	Matrix3x3
	MinMax.h	-
	QuadWord.h	QuadWord
	Quaternion.h	Quaternion
	Scalar.h	-
	StampedTransform.h	StampedTransform
	Transform.h	Transform
	Vector3.h	Vector3

現在はTFパッケージの一部のみサポート  
(今後サポート拡大予定)

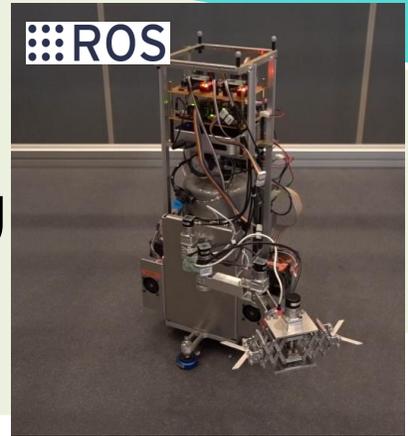
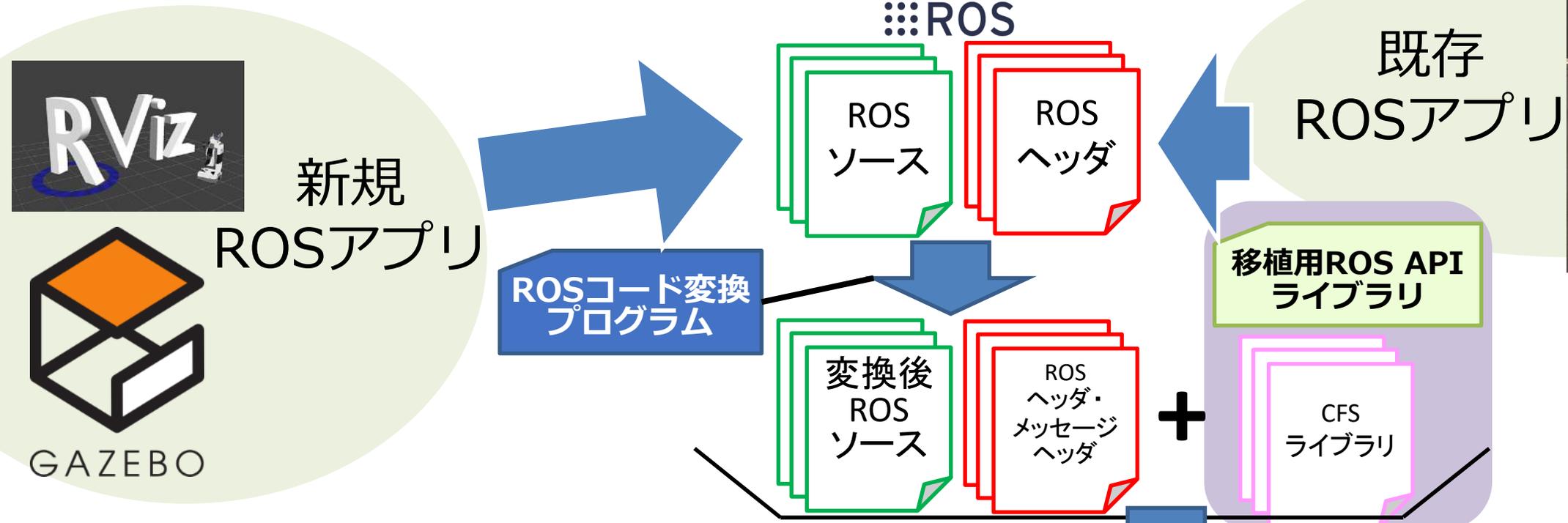
# ROSコード変換プログラム

```
1 #include "sample_pub/sample_pub.h"
2 int main(int argc, char** argv)
3 {
4     ros::init(argc, argv, "sample_pub");
5     ros::NodeHandle nh;
6     ros::Publisher ros_pub;
7     ros_pub = nh.advertise<std_msgs::Header>("ros_cfe_msg", 100);
8     ros::Rate loop_rate(100);
9     int count = 0;
10    while(ros::ok())
11    {
12        std_msgs::Header msg;
13        msg.seq = count;
14        ROS_INFO("send msg.data: %d, rostimenow.toSec: %f", msg.seq,
15                ros::Time::now().toSec());
16        ros_pub.publish(msg);
17        loop_rate.sleep();
18        count++;
19    }
20    return 0;
21 }
22
```

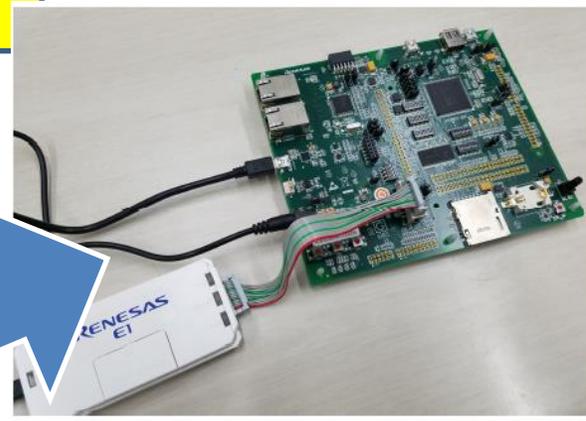
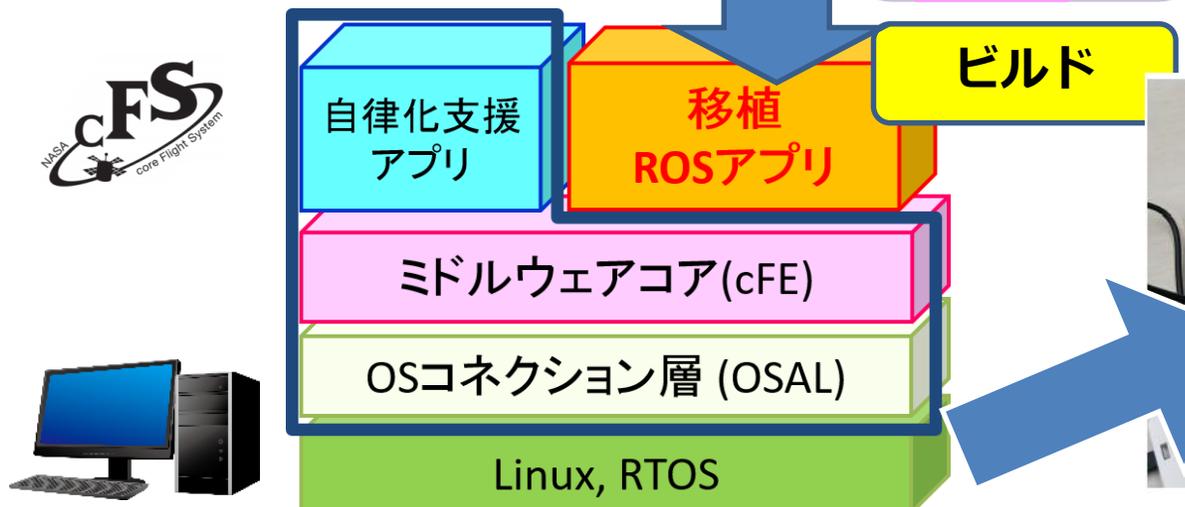


```
1 #include "sample_pub/sample_pub.h"
2 extern "C"{
3     #include "cfe.h"
4 }
5 #include "convert_lib.h"
6 #define EVT_COUNT 1
7 #define EVT_INFO0_EID 1
8 CFE_EVS_BinFilter_t EventFilterssample_pub_1[EVT_COUNT];
9 int topicNo_sample_pub_1_0;
10 void main_sample_pub_1(){
11     EventFilterssample_pub_1[0].EventID = EVT_INFO0_EID;
12     EventFilterssample_pub_1[0].Mask = CFE_EVS_NO_FILTER;
13     CONVERT_RosInit(EVT_COUNT, EventFilterssample_pub_1);
14
15     topicNo_sample_pub_1_0 = CONVERT_RosNodeHandleAdvertise("0x00000000000008", 0x1900, 100);
16
17     uint32 loop_rate = CONVERT_RosRate(100);
18     int count = 0;
19     while(CONVERT_RosOk())
20     {
21         std_msgs::Header msg;
22         msg.seq = count;
23         CFE_EVS_SendEvent(EventFilterssample_pub_1[0].EventID, CFE_EVS_INFORMATION,
24                           "send msg.data: %d, rostimenow.toSec: %f", msg.seq, CONVERT_RosTimeNowToSec());
25         msg_vector2pointer();
26         CONVERT_RosPublisherPublish((CFE_SB_Msg_t*)&msg, sizeof(msg), topicNo_sample_pub_1_0);
27         CONVERT_RosRateSleep(loop_rate, topicNo_sample_pub_1_0);
28         count++;
29     }
30 }
31 }
32 }
33
```

# ROSアプリケーション移植ステップ

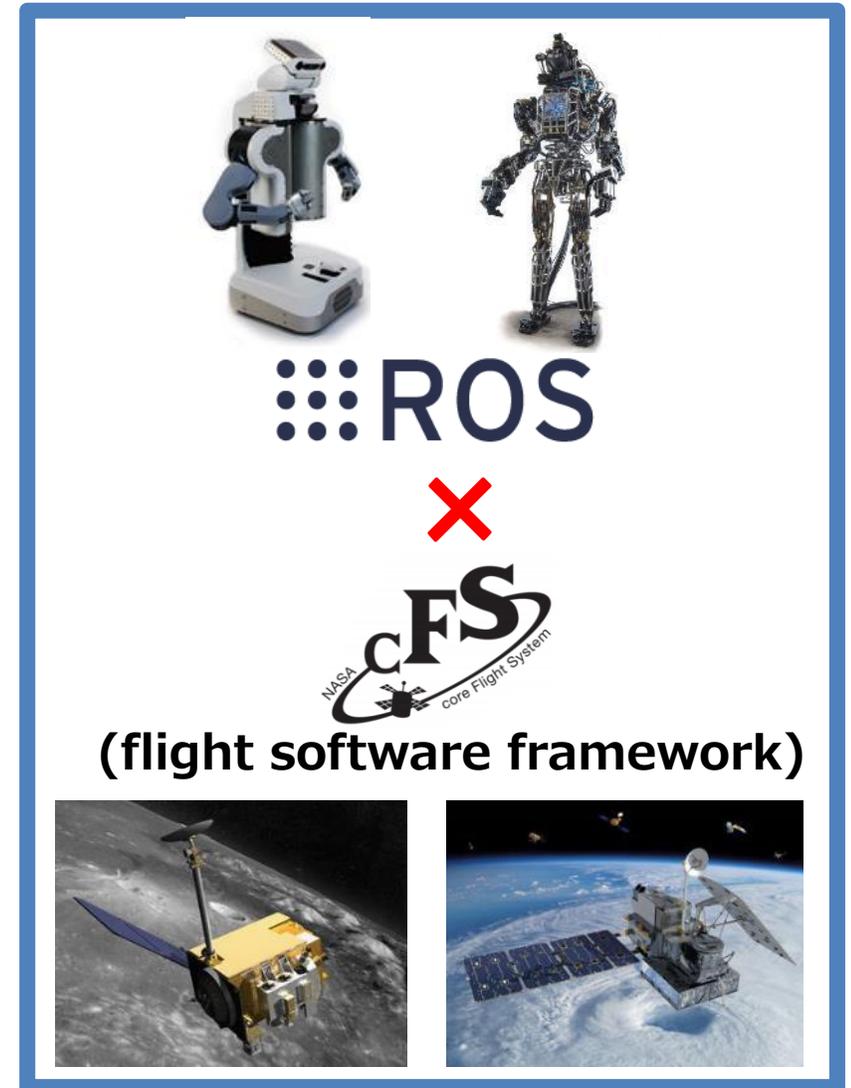


**宇宙ロボットアプリ  
開発が容易に実施可能**



# まとめ

- ROSアプリケーションの宇宙機システム（CFS）上での移植・動作環境を構築
- ROS開発ツール、ライブラリを利用してミッションアプリケーション開発効率を向上させる環境・手法を提案



# 今後の展望

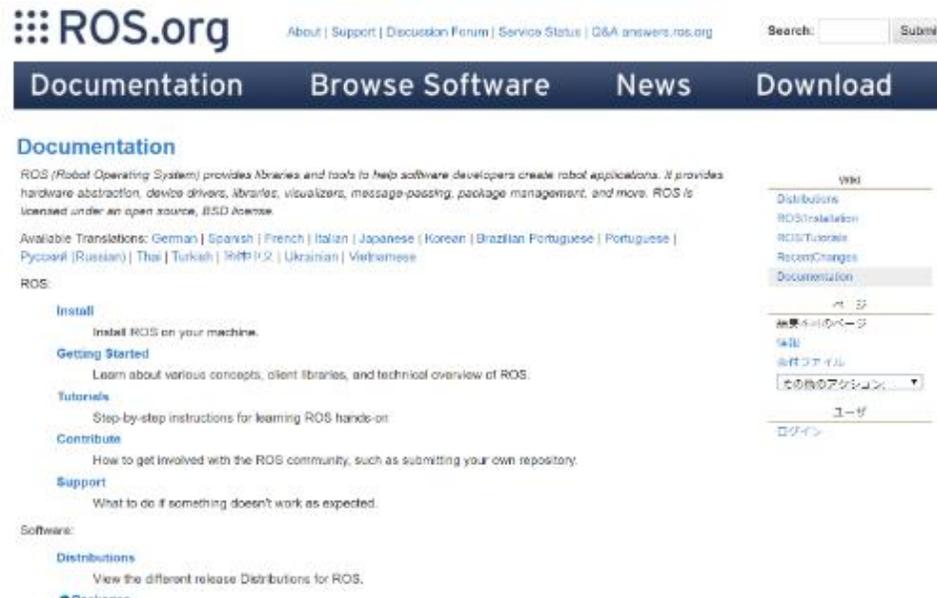
## 移植用ROS API ライブラリがサポートするROS機能一覧

No	ROS 機能	サポート状況
1.	Publish	✓
2.	Subscribe	✓
3.	Service	(将来対応)
4.	Param	(将来対応)
5.	Bag	(将来対応)

- 現時点で未サポートのrosservice, rosparam, rosbagについて対応。
- サポート可能なメッセージクラス、ROSパッケージの拡充。
- ROS、CFSのネットワークブリッジ機能開発。
- フライト検証を計画中。

# 今後の展望

本開発成果は、今後オープンソースプロジェクトとして公開予定。



ROSユーザの皆様のご意見・ご要望をお待ちしております